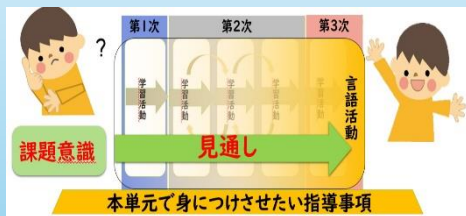




意欲的に読んでほしいなあ。

最初と最後の子どもの姿を想像して組み立てよう。



【ここがポイント💡】

導入で自分事に  
言語活動とつなぐ  
教材の魅力を生かす  
言葉に立ち止まるために  
発信したくなる設定  
読みの蓄積を生かす



対話を活発に？  
実際、難しい…

## 日常生活や社会生活に生きる言葉の力を育む授業 ～自分事の学びの中で、言葉の価値を自覚できる「読むこと」の実践を通して～

①学びの必要感を生み出し、  
言葉に自覚的に関わることができる単元構成



②課題解決に向けて試行錯誤しながら、  
自己の考えを広げ、深める対話

③学びの軌跡  
を振り返る  
～1枚ポートフォリオ～



言葉の価値  
を自覚

具体的な対話のイメージを  
共有してみよう。



【ここがポイント💡】

対話力を見取る  
対話を意識づけるアクティビティ  
継続して取り組み続ける  
形態は柔軟に  
見通しを持たせると円滑に



「振り返り」はなんのためにするの？

学びを自覚するためだよ。



【ここがポイント💡】

単元全体を俯瞰  
自分の言葉でまとめる  
生活につなぐ

【成果】3つの視点による授業改善の手立てにより、  
子どもが自分事として意欲的に学ぶ姿や、  
活発に対話する姿、そして単元末には自分の  
学んだことを自覚する姿が生まれた。

【課題】自分の考えをより深めようと、対話を  
繰り返したり、考え直したり、試行錯誤する姿  
を生み出すために、さらに追究が必要である。